

議 事 録

公開・一部公開・非公開			非公開 理由		
			文書管理責任者	保存期間	30 () ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
				作成日	令和5年3月20日(月)
部長	課長	課長補佐	係長	係	記録者所属 東御市公共交通活性化協議会
					職・氏名 主任 小川原 いずみ

会議等の名称	第11回東御市公共交通活性化協議会	開催日時	令和5年3月17日(金) 午後 1時 30分～ 午後 2時 40分
		場 所	東御市本庁舎 2階全員協議会室
主催者(事務局)	東御市公共交通活性化協議会事務局（商工観光課）	司会者	
出席者	高澤 陽、宮島 克夫(代理)(オンライン)、塚原 仁、中島 俊一、伊藤 伸一、井出 進一、 芦田 高英、阿部 貴代枝、饗場 薫、田中 節夫、唐澤 光章、小川原 章子、倉嶋 智彦、 関野 エリ、平林 千秋、峯村 文博、清水 初太郎、猿谷 巖、加藤 英人、宮原 剛士、 勝亦 達夫、白鳥 明(オンライン)、篠原 敏夫、小林 義忠、両川 博之、松井 道夫(オンライン)、 瀬下 澄仁 事務局：深井 芳信、山浦 晃隆、荒井 宗武、小川原 いずみ、小林 裕次、永島 美典 渡邊 亮太、清水 悟、安川 祐介		
欠席者	佐藤 栄治、真田 賢一郎、寺嶋 あい子、相場 聡司、坂口 永一、松葉 和彦、中島 健彦、 花岡 一之		

議 題	(議題) (配布資料) <ul style="list-style-type: none"> ・ 別冊東御市公共交通システム（案）の委員意見募集の結果及び承認について 資料No. 1、別冊、別紙 ・ 令和4年度東御市公共交通活性化協議会事業報告及び決算見込みについて 資料No. 2 ・ ・
決定事項 <small>(要点を簡条書き)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別冊東御市公共交通システムの承認 ・ 事業報告、決算見込みの承認
次回への検討事項	
次回開催	(日時) 令和 年 月 日 午後 時 分から (場所)
討議内容及び経過	(発言者名) (発言内容)
1 開 会	事務局
2 あいさつ	瀬下会長

<p>3 協議事項 (1) 別冊東御市公共交通システム（案）の委員意見募集の結果及び承認について</p>		
	事務局	資料No. 1、別冊、別紙について説明
		■質疑応答・意見
	瀬下会長	別冊の東御市公共交通システム（案）について意見や質問はあるか。
	阿部委員	滋野地区のバス路線について、以前の案では⑦から⑬へ南に進むルートで
		あったが、人口や子どもの分布を考慮してルートが変わってしまった。以
		前のルート案沿線の住民にとっては不本意な部分もあるが、計画本編の35
		ページにも書かれているように、送迎を希望している人が6～7割になる。
		ぜひ、送迎をしてもらっている子どもが公共交通を使えるよう、検討を続
		けてもらいたい。
	瀬下会長	ご意見として承る。
	平林委員	住民説明会にも参加をし、改定案で利便性は向上しているように感じてい
		る。住民説明会で出た意見の中で運賃に関する意見が出たが、遠距離通学
		の児童生徒に対する援助は継続されるという理解で良いか。また、高校生
		の利便性も考慮されているが、祢津地区の高校生で片道500円になるとい
		う声もあった。料金体系についてはどこでどのように検討していくのか。
		もう一点、どの程度の利用があるのか予測を立てたうえで、運行形態等を
		検討する必要があるのではないか。
	事務局	通学援助については、バスの有無に関わらず通学距離によって判断をする。
		料金体系については、地域公共交通会議において運賃収入や運行費等につ
		いて協議を行っていく。無料化などの政策的な話もあるかもしれないが、
		公共交通の側面から考えると、適正な運賃体系を持ちながら持続可能なも
		のとしていく必要があると考えている。利用者数については、定員超過で
	乗りこぼしがないように検討していく。	
瀬下会長	利用者数の見込みについてご意見があったが、現状ではジャンボタクシー	
	サイズでも足りている路線が複数ある。見直し当初から沿線の児童生徒全	
	員が乗車できるだけの規模で運行するのは難しいため、実際に運行をする	
	中で大型化を図るなどを順次進めていくことになるかと思う。ここから先	
	は、公共交通の確保という行政に課せられた使命の中で、どれだけの事業	
	費を投入できるかの判断となるため、料金体系については、今後地域公共	
	交通会議において検討を行っていく。	
平林委員	今年、事業者説明会を実施されていると思うが、どのような内容だったの	
	か。また、計画本編87ページに事業費の目標値が設定されているが、実際	
	にはかなりの増額が必要になるのではないかと考えている。この目標値は、	
	定時定路線バスの運行見直しを行う前の値であるため、今後、基本計画で	
	上限値が設定されているからこの範囲内で収めるということがないように	
	してもらいたい。	
事務局	事業者説明については、現在運行を行っている事業者に対して、変更案の	
	経路や道路幅員等に関する協議を行った。目標値については、計画内でも	
	定時定路線バスの見直しを都度行うこととしており、目標値を上限とせず、	
	利便性の向上を図り持続可能な公共交通とすることを目指していく。	

瀬下会長	目標値の7千万円というのは、市のおおよその補助金額であり、その範囲内で収めたいというのが一つある。その中で、AIデマンドの導入や定時定路線バスの見直しによる運行車両台数の削減で余裕は生まれると考えられる。
平林委員	AIデマンドについては、費用の試算も行われているが、定時定路線バスについては費用計算が行われていない。運行台数が増えると、目標内で収めきるの難しいのではないかと感じており、目標値を上限としないようにすべきだと思う。
瀬下会長	バスの借り上げ料金は1日あたりで決まるため、運行本数や経路によらない。人件費や燃料費の高騰を考慮しない場合、現行の費用でも見直しは可能であるということか。
事務局	そのとおりである。
瀬下会長	他になければ、スケジュールに関して意見や質問はあるか。
	質問・意見等なし
瀬下会長	循環線に関して意見や質問はあるか。
平林委員	住民説明会では、環状線について否定的な意見はなかったが、賛成意見もなかった。どのような層のどのような利便性を満たしたものが歓迎されるのかという視点に基づく計画の立案が必要と考えている。私が提案した案も参考に検討をしてもらいたい。
倉嶋委員	循環バスは市民が集まる場所をおさえていると思うが、デマンドと重複する部分がある。これからデマンド型交通が充実し、どのような高齢者でも頼みやすいようなシステムができれば、改めて循環バスが走る必要はないのではないと思う。とある市民活動に参加する高齢者は皆が自動車であり、デマンド交通を知らないため、そのような方々が安価で気軽に利用できるシステムができれば良いと思う。
瀬下会長	循環バスは研究中ということであり、ご意見として承る。
関野委員	循環バスは平日のみの運行を想定されているが、海野宿などの観光拠点を經由している。観光客が多く来る休日に運行できないのは、先ほどの説明にあったように予算上の問題なのか。
事務局	住民説明会においても、休日運行の要望はあった。循環線については、今後検証していくものであるが、そのような意見も踏まえて検討を行っていく。以前、デマンド型交通の休日運行については調査検討を行い、利便性は低いということで現在に至っている。
瀬下会長	他になければ、別冊東御市公共交通システムについてご承認をいただいたと思う。賛成いただける方は挙手をお願いしたい。
	(挙手多数)
瀬下会長	東御市公共交通システムについてはご承認をいただいた。第10回協議会で本編についてもご承認をいただいております。これをもって計画を市に提示し、今後は地域公共交通会議において進捗管理をおこなっていくこととなる。
事務局	資料No. 2について説明
	■質疑応答・意見

(2) 令和4年度東御市公共交通活性化協議会事業報告及び決算見込みに

について	瀬下会長	令和4年度の事業報告、決算見込みについて意見や質問はあるか。
		質問・意見等なし
	瀬下会長	最終的な決算については、幹事の塚原委員と猿谷委員にお願いしており、
		各委員の皆様には郵送でお知らせする。事業報告、決算見込みについてご
		承認をいただける方は挙手をお願いしたい。
		（挙手多数）
		それでは提示のとおり進めていく。
4 その他		東御市地域公共交通計画（本編）、別冊東御市公共交通システムを花岡市
		長に提出
		花岡市長より挨拶
		瀬下会長より挨拶
5 閉会	事務局	